

平成28年度 茅ヶ崎市市民討議会報告書

テーマ：「学校施設の^{ポテンシャル}可能性～「つながり」を生み出す学
びの場づくりにむけて～」

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

目次

実行委員長あいさつ	1
1 市民討議会の実施概要	
(1) 日程等	2
(2) 討議テーマと情報提供	2
(3) スケジュール	2
2 市民討議会の討議のヒント	
(1) 討議 1	3
(2) 討議 2	3
3 市民討議会の提言のまとめ	
(1) 討議 1	4
(2) 討議 2	8
(3) 参加学生の感想と意見	13
4 アンケートの結果	
(1) 事前アンケート	15
(2) 事後アンケート	20
(3) 不参加者アンケート	25
5 講評	27
6 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き	29
あとがき	30

実行委員長あいさつ

2016 年 9 月の初旬は、まだまだ暑い日が続いていました。第 8 回をむかえた茅ヶ崎市市民討議会は、そのような時期の熱気とともに、参加者のみなさまの熱い思いを語り合う場となりました。本報告書は、その日の、温度感にあふれた取り組みの紹介です。

今回の市民討議会は、「学校施設の可能性～「つながり」を生み出す学びの場づくりにむけて～」を全体テーマに掲げ、実施されました。市民のみなさまには 7 月初旬に案内状を発送し、57 名から参加の承諾を得ることができました。会場の関係で 50 名を上限としなければならず、たいへん申し訳ないことに抽選を行って、市民参加者を決めることとなりました。7 名のみなさまには、心よりお詫び申し上げます。ですが、こうした事実からもわかる通り、学校施設や教育の「今」に向けられる市民のみなさまの関心は、やはり高かったのです。会の実施者として、まさに、身が引き締まる思いがしました。そして、事実、市民討議会の会場は、活発な議論が交わされました。参加者のみなさまに、ご協力にたいするお礼を申し上げます。

実際の討議は、議論の内容をより深めるための話し合いテーマが定められます。今回は、1)「未来の担い手として、いま子どもたちに学んでほしいことは？」、2)「子どもや私たちのこれからの成長に向けて必要な学校とは？」という 2 件を設定しました。参加者から、どのような話題が提示されたかは、本書の報告内容をご覧くださいこととしましょう。しかしながら、少なくとも次の点は、実行委員会として深く認識をいたしました。つまり、学校施設や教育にたいしては市民の期待が多様であり、大きいこと、また、その展望を実現する努力を行政にも市民にも求めていることです。これを受けて、担当課を含む実行委員会メンバーは、あらためて、教育面での行政の役割を重く受け止めました。さらに、今後に向けては、どのように教育を提供するか（そして、どのように提供されるか）についても、ますますの確認が必要となることを再認識しました。担当課のこれからの業務へとつながる、重要な発見が得られたのではないかと感じました。

さて、市民討議会そのものに注目すると、本会は今回で 8 回の実績を有する、継続的な市民参加の「会」といえるでしょう。これこそ、承諾や参加をして下さったみなさまがいたからに他なりません。この場を借りて、重ねて、お礼を申し上げます。そして、本報告書を手にされた方々が、地域への「市民の参加」に再びご協力下されば、なおありがたく存じます。また、実行委員会を構成することとなったすべてのみなさまにも、感謝を申し上げます。今後も討議会の活動が、茅ヶ崎市のこれからのしっかりとこみ合い、市の発展につながることを願っております。

平成 28 年度 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会委員長
山田 修嗣（文教大学 国際学部）

1 市民討議会の実施概要

(1) 日程等

- ア 日 時 平成28年9月3日(土) 9時30分～13時00分
イ 会 場 市役所本庁舎4階会議室2・3
ウ 参加者 45名
エ 主 催 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会
(文教大学湘南総合研究所及び公益社団法人茅ヶ崎青年会議所で構成)

(2) 討議テーマと情報提供

ア 全体テーマ

「学校施設の^{ポテンシャル}可能性～「つながり」を生み出す学びの場づくりにむけて～」

イ 個別テーマ

討議1「未来の担い手として、いま子どもたちに学んでほしいこととは？」

討議2「子どもや私たちのこれからの成長にむけて必要な学校とは？」

ウ 情報提供

討議1「次期学習指導要領の改訂の方向」

■情報提供1回目：文教大学大学院 教育学研究科長 葉養正明氏

討議2「人口減少社会における学校施設の再整備について」

■情報提供2回目：文教大学大学院 教育学研究科長 葉養正明氏

(3) スケジュール

- 9:30 開会、主催者挨拶
9:35 市長挨拶
9:40 経緯の説明
9:47 趣旨・進行の説明
9:52 アイスブレイク
10:00 情報提供①
10:15 グループ討議①
11:00 グループ討議内容発表
11:15 【休憩】
11:25 情報提供②
11:40 グループ討議②
12:40 グループ討議内容発表
12:55 1日の振り返り
13:00 閉会

2 市民討議会の討議のヒント

(1) 討議1「未来の担い手として、いま子どもたちに学んでほしいこととは？」

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	お名前、お住まいの地域など
アイスブレイク	校舎や学校の設備について、思いでを1つだけ話してください。
学校とはどのような場所でしたか？ みなさんの学校での成長とはどのようなものでしたか？	・小中学校での経験や得た知識が今の自分に生かされていることはありますか？ ・自分たちが学校で経験したこと、思い出に残っている体験を1つ教えてください。(印象に残っている行事、学校で成長できた実感、印象に残っている先生、心に残る先生の一言など)
これからの子どもたちが将来に明るい展望を持ち、自由に夢を描き、それを実現するために、どのような人に成長してほしいですか？	・小学生や中学生のうちに体験してほしいことは何ですか？ ・小学生や中学生のうちに身につけ、蓄えてほしい「力」は何ですか？ ・学校での経験を踏まえ、どのような人になってほしいですか？
討議を踏まえ、グループでスピーチの内容を考えてください。	・茅ヶ崎の子どもたちには、どのような人に成長してほしいですか？

(2) 討議2「子どもや私たちのこれからの成長に向けて必要な学校とは？」

内容	討議のヒント・きっかけ
簡単な感想の提示	・討議1に対する簡単な印象の紹介 ・討議2で話したいと思う、学校についての話題。
提案された「理想的な成長に向けて、必要、大事だと思う学び(経験・知識など)」を模造紙により、さらに絞り込みましょう。	・興味や関心を引く提案はどれでしたか。 ・必要に応じて、いくつかの付箋をグループにまとめてみましょう。(5年後の学びや学校の話題、10年後の学びや学校の話題、地域を対象とした話題、子どもを対象とした話題、大人を対象とした話題、地域を対象とした話題) ・これから話し合うテーマとすべき提案を2、3点選んでみましょう。
子どもたちの成長の糧となる学校施設とは、どのようなものでしょうか。	・付箋で分けたグループごとに、これからの学校のイメージを提案してください。 ・あなたにとって、どのような学校施設が必要だと考えられますか。 ・どのような施設があれば、「これからの人間」を育む可能性が高まるでしょうか。(語学学習のためのこれからの教室、豊かな人間関係を経験する教室の仕組み、理想の行事を実現する施設、理想の校舎や必要な建物、高層化/低層化)

3 市民討議会の提言のまとめ

(1) 討議1

テーマ：未来の担い手として、いま子どもたちに学んでほしいことは？

- ・学校とはどのような場所でしたか？
- ・これからの子どもたちが将来に明るい展望を持ち、夢を描き、それを実現するためにどのような人に成長してほしいですか？

グループ 1	グループ意見
1. みなさんが学校で経験したこと、みなさんの学校での成長とはどのようなものでしたか？	・ 知識を身に付けるための場所 ・ あまり自由がなかった
2. 小・中学生のうちに体験してほしいこと、蓄えてほしい「力」は何ですか	・ 自分の考えを伝えられる人 ・ 他人を理解できる人 ・ 協力して助け合うことの大切さを知ってほしい ・ 外国人と交流する機会 ・ 聞く・話すことメリハリがある人 ・ グループワーク ・ 正しい歴史の知識を持つ人 ・ 部活動

グループ 2	グループ意見
1. みなさんが学校で経験したこと、みなさんの学校での成長とはどのようなものでしたか？	・ 体罰があった ・ 雰囲気でのいじめがあった ・ 子供だけが生活をする場所 ・ 協調性が求められる場所
2. 小・中学生のうちに体験してほしいこと、蓄えてほしい「力」は何ですか	・ 他人の主張を受け入れられる人 ・ 協調性 ・ 個性を持っている人 ・ 失敗を学んでほしい ・ 自分の意見を他人と出し合う ・ 得意なことを伸ばしてほしい ・ クリエイティブな発想を持つ人

グループ 3	グループ意見
1. みなさんが学校で経験したこと、みなさんの学校での成長とはどのようなものでしたか？	・ ものの不自由はあったが、人同士のコミュニケーション深かった ・ 点数によって勝ち負けが決まっていた ・ 緑が多かった

2. 小・中学生のうちに体験してほしいこと、蓄えてほしい「力」は何か	・ 勉強って楽しいということを学んでほしい ・ 英語をコミュニケーションとして使う ・ 知識も大事だが思いやりのある人に育ってほしい ・ 英会話の勉強が必要 ・ 英語教育の目的を明確にする ・ 自分を表現する力 ・ 思いやり ・ コミュニケーション能力 ・ 地域のコミュニケーション
------------------------------------	---

グループ 4	グループ意見
1. みなさんが学校で経験したこと、みなさんの学校での成長とはどのようなものでしたか？	・ 遊ぶ、身体を動かす場所 ・ 人間関係を学ぶ場所 ・ 上下関係 ・ 集団意識を学ぶ場所 ・ いろいろな話を聞く
2. 小・中学生のうちに体験してほしいこと、蓄えてほしい「力」は何か	・ 身体を動かす、スポーツ ・ 行動力が必要 ・ コミュニケーション力 ・ 小学生のうちからくじけない人になれるようにする ・ 集団で遊ぶ ・ 視野を広げる ・ 職業訓練 ・ 昔の遊びを体験 ・ 地域の方々との交流、地元への愛着 ・ 地域とのコミュニケーション

グループ 5	グループ意見
1. みなさんが学校で経験したこと、みなさんの学校での成長とはどのようなものでしたか？	・ 人付き合い・人間関係 ・ 大人になっていく大切な時期 ・ 喧嘩はあったが遊びのようなもの ・ 差別をはじめて認識した場 ・ 給食 ・ いじめ→協力することの大切さを知った ・ 友達と遊ぶ、親のいない場

2. 小・中学生のうちに体験してほしいこと、蓄えてほしい「力」は何ですか	・共有するものが少ないため他者との交流をすべき ・道徳 ・差別のないコミュニケーション ・人付き合い・人間関係 ・グローバルな感覚 ・宗教など関係なく学ぶべき
--------------------------------------	--

グループ 6	グループ意見
1. みなさんが学校で経験したこと、みなさんの学校での成長とはどのようなものでしたか？	・バスケットに明け暮れた ・運動会などのイベントの気合の入れ方が今よりもハードだった ・協働すること、忍耐、体力がついた ・丈夫な体をつくった ・サボっていた…（もう少し勉強していればよかった） ・土曜授業があった ・体験型授業があった（例：職業体験）
2. 小・中学生のうちに体験してほしいこと、蓄えてほしい「力」は何ですか	・専門的なことも学んでほしい ・教師以外の専門家による講義があると良い ・興味・関心を伸ばす学習を経験してほしい ・聞く力、忍耐、興味がのびると嬉しい ・ディスカッションを授業の中で経験してもらいたい

グループ 7	グループ意見
1. みなさんが学校で経験したこと、みなさんの学校での成長とはどのようなものでしたか？	・学校の思い出は遠足である ・ウォークラリーなど勉強だけでなくつながりをつくる機会があった ・授業で「言葉の力」というのをやった ・昔は学校の先生だけでなく地域全体が「先生」だった
2. 小・中学生のうちに体験してほしいこと、蓄えてほしい「力」は何ですか	・コミュニケーション力の育成を大切にしてほしい ・インターネットが普及した現代だからこそ自発的に考える力をつけてほしい ・地域も協力するという前提で、地域とのかかわり方を学校で教えてほしい

グループ 8	グループ意見
1. みなさんが学校で経験したことを踏まえての現在の学校に対するイメージ	・避難場所としての関わり ・子どもと地域の関わりが薄い ・積極的に大人と話をできる子が少ない ・集団登校が通勤などの妨げになることが多い ・英語学習などのために学校施設には行きにくい ・あいさつができる子が少ない ・閉鎖的
2. 小・中学生のうちに体験してほしいこと、蓄えてほしい「力」は何ですか	・海があるので子どもの防災教育・訓練の必要性 ・防火や耐震などの整備をすべき ・地域と関わる機会を増やすべきでは ・あいさつを通じたコミュニケーション ・職業体験は地域とのコミュニケーションがとれるので今後も続けてほしい ・授業よりも地域や大人と子どもがもっと関わることが重要

グループ 9	グループ意見
1. みなさんが学校で経験したこと、みなさんの学校での成長とはどのようなものでしたか？	・いじめはあったが、部活の仲間が助けてくれた ・昔はどんなことも無料で遊べた ・遊び場所がお寺など、学校だけではなかった ・名物先生がいて、その教科がすきになった
2. 小・中学生のうちに体験してほしいこと、蓄えてほしい「力」は何ですか	・英語教育は必要 ・日本語をおろそかにしてはいけない ・社会ルールを積極的に教えるべき ・文化を継承してほしい ・学びの選択を増やすべき ・まずは、大人がマナー・常識を徹底するべき

(2) 討議2

テーマ：子どもや私たちのこれからの成長に向けて必要な学校とは？

- ・提案された「理想的な成長に向けて、必要、大事だと思う学び（経験・知識など）」を絞り込んでみましょう
- ・子どもたちの成長の糧となる学校施設とはどのようなものなのでしょうか？

グループ1	グループ意見
1. 興味や関心をひく提案はどのようなものでしたか	・ 競争社会において協力して助け合うことの大切さ ・ コミュニケーションとしての語学教育 ・ 外国の方と交流する機会 ・ 正確な歴史教育 ・ ホノルルとのつながりを利用した教育 ・ 食育など自然を使った茅ヶ崎ならではの教育
2. これからの学校のイメージを提案してください どのような学校施設が必要だと考えられますか	・ 学校を開放し一般人も利用できる施設にし、関わりを増やす ・ 防災においてモデルとなる学校施設 ・ 図書館を充実させ、自習室を設置する ・ 遊びながら学ぶことができる学校 ・ 高齢者が気軽に来校でき、子どもたちに教育ができる施設

グループ2	グループ意見
1. 興味や関心をひく提案はどのようなものでしたか	・ 挨拶などの礼儀や思いやり・気遣い ・ 様々な人の話を聞き、コミュニケーション能力を身に着ける ・ 学童施設における交流イベント
2. これからの学校のイメージを提案してください どのような学校施設が必要だと考えられますか	・ 一般市民が出入りできる学校 ・ 地域で共有して利用できる音楽施設・調理施設・図書館など ・ 地域住民に向けた開放的な学校

グループ3	グループ意見
1. 興味や関心をひく提案はどのようなものでしたか	・ 小さいころからよく議論をすべき ・ 地域のイベントに積極的に参加→そこから多くを学ぶ

	・ 自治会への参加 ・ コミュニケーション能力を地域で高める ・ 親の役割（PTAに参加する、親がまず手本になるべき） ・ 自治会へ参加すべき ・ 学校の管理を平日、土日で分ける ・ 授業に参加できるイベント設ける ・ 昔のようなふれあいが大事
2. これからの学校のイメージを提案してください どのような学校施設が必要だと考えられますか	・ 複合施設（保育園、高齢者施設などを作り、子どもたちがその状況を見て自ら成長する） ・ 公園など自由に遊べる場所があると良い ・ ランドマーク的な役割 ・ 子育て支援センター ・ コミュニケーションをとる場所として、人が集まる場

グループ 4	グループ意見
1. 興味や関心をひく提案はどのようなものでしたか	・ 子ども同士で相談、話し合いをする ・ 何をしたい、知りたいかを理解する ・ 地域とのコミュニケーション ・ 新聞づくり ・ 顔見知りを増やす ・ グループでの協力 ・ 校外学習
2. これからの学校のイメージを提案してください どのような学校施設が必要だと考えられますか	・ パソコン、インターネットの使用を制限する ・ 地域の人でも利用できる施設づくり ・ いろいろなスポーツができる環境 ・ 多目的室 ・ 先生以外にも子どもにかかわる人材が必要 ・ 図工ができる教室 ・ ワークショップができる場所 ・ 校内にコミュニティーセンター

グループ 5	グループ意見
1. 興味や関心をひく提案はどのようなものでしたか	・ コミュニケーション力・人付き合い ・ 道徳・倫理

	・考え方を学ぶ ・学校内でディスカッション ・ボランティア ・人前で発表する、話す機会 ・実践力をつける ・距離感のつかみ ・同じ時間を過ごしている認識
2. これからの学校のイメージを提案してください どのような学校施設が必要だと考えられますか	・協力できる学校づくり ・考え方を学ぶための環境を作る ・災害に強い学校にする ・運動場を開放する ・休日でも利用できる学習スペース ・広いグラウンド ・コミュニティスペース ・オープンスペース

グループ 6	グループ意見
1. 興味や関心をひく提案はどのようなものでしたか	・協調性、コミュニケーション能力の力を蓄えてもらいたい ・弱者のために学校を活用 ・夕方、土曜日の学校活用 ・「話す」ことに対しての力として言語力を身につけてもらいたい ・興味があることを実践することで自立 ・自律につながるのではないかな ・施設同士の連携をとる
2. これからの学校のイメージを提案してください どのような学校施設が必要だと考えられますか	・地域のニーズに合った施設づくり ・目的がある人が来る複合施設 ・壁をつくらない場（入りやすい場） ・多様な人が集まるコミュニケーションが取れる場 ・年齢にとらわれない交流の場づくり ・温かみのある校舎

グループ 7	グループ意見
1. 興味や関心をひく提案はどのようなものでしたか	・地域の方に学校に来てもらって何か教える（料理、工作など） ・子どもには色々なことを体験してほしい「体験」することが大切 ・地域から得られる学びも大切 ・地域の人と交流があるとよい

	・子どもが考えたことを地域の大人が実現できるような関わりがあるとよい ・学校と地域のつながりを強くする
2. これからの学校のイメージを提案してください どのような学校施設が必要だと考えられますか	・学校が多目的な場になるとよい ・学校の一部を地域の人が入り出できる場にする ・セキュリティを考えつつ開かれた学校というような両立ができると良い ・学校を学校ということにとらわれない、誰でも利用できる施設にする

グループ 8	グループ意見
1. 興味や関心をひく提案はどのようなものでしたか	・ゴミの出し方などの教えられる事で地域と学校がつながるのでは ・空いているテニスコートを地域の人も利用できるようにする ・学校の運営状況を知ることが出来たら学校に行きやすくなる ・音楽室でイベントを行う ・防災訓練を学校と地域で行う ・小中学校の文化祭に地域の人々・自治体も参加する ・民間企業と学校が協力し、空き教室を活用する ・ラジオ体操や子供会を地域と学校で行う ・地域と学校の関わる機会を増やすべきでは ・セキュリティ面での仕組みづくりが必要
2. これからの学校のイメージを提案してください どのような学校施設が必要だと考えられますか	・老人ホームを併設する。 ・バリアフリー化し、エレベータを設置することで子どもだけではなく誰もが利用しやすい ・空き教室の利用予約などがネットで出来たら良い ・津波被害を防ぐために建物の階数を増やし、高くしては

グループ 9	グループ意見
1. 興味や関心をひく提案はどのようなものでしたか	・土曜日を地域との関わりを持つ日として設定する ・年代を越えた話題づくり ・地域に熱意をもって活動をしている人の話を聞く機会を設ける ・小学生がデイサービスに同行する ・体育館を活用したガレッジセールなどを行い、地域内コミュニケーションをとる ・防災訓練に地域の人参加する ・学校が地域の中に入っていききっかけを作るべきでは ・授業をオープンに ・複合化し、さまざまな年代との関わりをもてる環境にする ・なにを取り入れ、捨てるべきか考えるべき ・イベントを地域と学校で行う
2. これからの学校のイメージを提案してください どのような学校施設が必要だと考えられますか	・教室の改善よりも中身の改善 ・学童保育がほしい

(3) 参加学生の感想と意見

市民討議会は、一般市民各々の地域に対する考えを共有できる場であると同時に、行政や青年会議所、市民にとっての、地域が抱える公共的課題に対する意識の更なる向上に繋がる重要な機会であると感じられた。我々学生にとっても、地域との交流を深め、「市民参加」に対するより一層の学びを深め、体験する貴重な場である。

以下、市民討議会の課題点や今後の展望を含めた参加学生の感想や意見を列挙する。

文教大学国際学部生

ア 市民討議会の重要性について

- ・ 茅ヶ崎市に住む市民同士が、茅ヶ崎市の良さ、生活環境、今後どのようなまちにしたいかを話し合うことで、改めて「茅ヶ崎らしさ」を気付くことができる貴重な機会だと感じた。
- ・ 市民の考えが反映される可能性がある貴重な機会であると感じた。
- ・ 討議会開催前は、世代間の差により討議が難しいのではないかと考えていたが、多様な時代を過ごしてきた人同士の討議だからこそ多様な考えに触れることができる機会になったと感じた。
- ・ 茅ヶ崎市のまちづくりの一環として行われた市民討議会は、我々学生にとって貴重な経験となった。
- ・ 大学での研究にも大変勉強になる議論内容だった。
- ・ 市の考えだけでなく、市民の方々の意識・考えが加わることでより具体的なものになっていくと感じた。
- ・ 行政と市民の関わり方の一例として新たに知ることができて良かった。
- ・ 前回より参加者が多かった為、より多様な意見が行き交い、全体が盛り上がったように感じた。
- ・ どの世代にも共通する考え方もあるのだと、討議会を通し、知ることができた。
- ・ 行政と市民をどのように繋げていけるか、という議論が必要であると改めて感じた。

イ 参加市民に対する印象について

- ・ 市の将来、次世代の子どもたちについて深く考えている人が多いと感じた。
- ・ 参加した市民の方々の茅ヶ崎市に対する思いを知ることができた。
- ・ 幅広い世代の方が集まり、一人一人年齢や立場が違えば意見や考え方も異なることを感じた。
- ・ 今回参加した市民の方々のように、機会があれば茅ヶ崎市に対する自分の考えを発信したいと考えている方が多くいるのではないかと思った。
- ・ 高齢の方々の「若者に任せる」という発言は、積極的でないようにも受け取られてしまいが、本当に「任せる」気持ちから発せられているかもしれない。これを、誤解のないように、話し合いによって確認できるのが討議の大切さだと感じた。
- ・ 多くの市民が「市民参加」の重要性を理解しているのではないかと感じた。
- ・ 市民の方一人一人が貴重な意見を持っていることがわかり、市民が討議できる場をも

っと広げていくべきなのではないかと思った。

- ・ 茅ヶ崎市民の積極性に驚き、感心した。一人一人が茅ヶ崎市をよりよくするために考えて発言している姿が目立った。
- ・ 参加市民が、多様な視点からの意見を批判することなく新たな視点としてそれも含めて議論を追求していく様から、市民の「参加」を間近で見ることができた。

ウ 市民討議会の企画・運営について

- ・ 模造紙に予め提供話題に関する振り分けがあったのは、討議中でも目で確認でき、わかりやすかった。
- ・ 前半と後半でリーダーを交代するなど柔軟な対応ができた。
- ・ 話の方向性がずれてしまったとき、タイミングを見計らって JC の方が軌道修正していて、時間内にまとめることができた。
- ・ 発表時間の 90 秒はとても短く困難であったと感じた。
- ・ 何度か発表の途中で 90 秒ということを知らせるべきではないかと感じた。
- ・ 発表時間を超過するグループが 1 つでもあると、他のグループも発表が長くなってしまいう傾向が感じられた。
- ・ 半日開催は午後に予定が入っている人も気軽に来られるのでいいと思った。
- ・ 今後の理想として、具体的で簡潔な知識を全体で共有することが必要だと感じた。

エ テーマ「学校施設の可能性～「つながり」を生み出す学びの場づくりにむけて～」の討議について

- ・ 教育施設の利用法を考える、というテーマは地域におけるコミュニティ形成において重要であると感じた。
- ・ 教育施設の主な利用者となる市民による積極的な討議は、新たな課題を討議していく上で有益だと感じた。
- ・ テーマであった教育分野に対する市民の関心度は高いと感じた。

4 アンケートの結果

(1) 事前アンケート結果

回答数 45

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

【参加者の属性について】

設問 1, 職業		
①	農業・漁業	0
②	自営業・経営者	1
③	自由業	0
④	家事手伝い	0
⑤	公務員・団体職員	3
⑥	専門技術職	8
⑦	事務職	5
⑧	販売・サービス職	1
⑨	製造・労務職	3
⑩	パート・アルバイト	2
⑪	家事専業	8
⑫	学生	1
⑬	無職	8
⑭	その他	5

設問 2, 家族形態		
①	単身	5
②	(自身の)夫婦のみ	11
③	未婚の子どもと同居	20
④	既婚の子どもと同居	1
⑤	親世代と同居	6
⑥	三世代以上が同居	1
⑦	その他	0

設問 3, 住居形態		
①	持ち家(戸建)	27
②	借家(戸建)	0
③	集合住宅(分譲)	9
④	集合住宅(賃貸)	8
⑤	公営住宅	1
⑥	社宅	0
⑦	その他	0

設問 4, 市内での居住年数(⑥については重複可)		
①	1年未満	0
②	1年～5年未満	5
③	5年～10年未満	1
④	10年～20年未満	11
⑤	20年以上	18
⑥	生まれてからずっと	10

設問 5, 茅ヶ崎での定住の意向		
①	住み続けたい	20
②	できれば住み続けたい	13
③	できれば転出したい	0
④	転出したい	0
⑤	わからない	7
⑥	その他	3

設問 6, 平日の平均在宅時間(睡眠時間を除く)		
①	2時間未満	0
②	2～4時間未満	9
③	4～7時間未満	16
④	7～12時間未満	6
⑤	12時間以上	10
⑥	その他	2

【参加の動機について】

設問 7, 市民討議会の手紙(参加依頼)が届いて、どのように感じましたか

設問 8, なぜ討議会への参加を決意しましたか

①	面白そう	18
②	良いとりくみ	12
③	新しいとりくみへの期待	18
④	選ばれてよかった	4
⑤	なぜ討議をするのか不明	3
⑥	実際に何をするのか不安	14
⑦	つまらなそう	0
⑧	とくに感想はなかった	2
⑨	その他	4

①	討議会が興味深かった	18
②	テーマが興味深かった	11
③	日程的に都合がよかった	10
④	市のために協力したかった	12
⑤	市民の役割として大切だと思った	20
⑥	新しいことにチャレンジしたかった	5
⑦	市から手紙が届き参加しなかったらと思った	6
⑧	日頃から市に言いたいことがあった	2
⑨	その他	3

設問 9, 謝礼の必要性について、どのようにお考えですか		
①	必要だと思った(参加はするが必要と感じた)	6
②	不要だと思った	19
③	その他	18

設問 9-1, 【設問 9】で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか		
ア	謝礼 1000 円	1
イ	謝礼 3000 円	1
ウ	謝礼 5000 円	4
エ	謝礼 10000 円	0
オ	謝礼品 1000 円程度	2
カ	謝礼品 3000 円程度	1
キ	謝礼品 5000 円程度	1
ク	謝礼品 10000 円程度	0

設問 10, 「学校施設の再整備」からどのようなことをイメージしますか		
①	校舎棟などの建て替え	8
②	校舎棟などの改修	16
③	学校の新設・統廃合	10
④	学校設備の整備	18
⑤	学校備品の整備	11
⑥	体育館などの改修	7
⑦	特別教室の設置・改修	17
⑧	その他	12
⑨	特になし	2

設問 11, この1年の間に小学校または中学校に行ったことはありますか		
①	ある	25
②	ない	17

設問 11-1, 【設問 11】で①を選択した方、それはどのような理由でしたか		
①	授業参観、学校行事参加等	9
②	学校評議員会、PTA等の役員として会合に出席	1
③	指導協力者(総合的な学習、	1

	中学校の部活動など)	
④	体育館、校庭利用のため（学校開放）	1
⑤	地域の防災訓練	3
⑥	選挙の投票	12
⑦	その他	7

設問 12, 学校施設の印象についてどのように感じていますか		1	2	3	4
		良い	ふつう	良くない	わからない
A	周辺の自然環境・景観	8	24	4	7
B	施設の間取り	3	13	5	22
C	学校の規模（児童・生徒数）	4	13	5	21
D	施設整備	1	18	7	17
E	施設内の設備	3	20	3	17
F	地域への開放	5	15	10	12
G	防災・防犯	2	18	8	15
H	バリアフリー	1	7	14	21
I	児童・生徒が交流しやすい	1	11	4	26

設問 13, 小・中学校の施設の中で「地域で使えるなら使いたい」と思うものはなんですか		
①	校庭	20
②	体育館・プール	19
③	理科室、音楽室、家庭科室などの特別教室	6
④	ランチルーム、多目的ルーム	11
⑤	図書室	13
⑥	その他	6
⑦	使いたいものはない	2

設問 13-1, 設問 13 で選択した理由をご記入ください
○世代が違う自分が利用すると、小中学生が利用しづらくなると感じるため。 ○自分が少年野球で使わせてもらったため。 ○スポーツができる設備が少ないため。 ○小学校入学前に環境を知る機会があると良い。 ○本を読む機会が増えるのはいいことだと思うので。 ○子ども向けの本が充実していると思うので。 ○人が集まる場所にできるから。子どもを遊ばせたりもできる？（小さい子向けの場所を指定しないと怖いかもしい）急に子どもを預かって欲しい時などに、そのような施設を

兼ね揃えているとありがたい。(未就学児の家なので)

- 卒業後や生涯スポーツ、学びの場を考えると既存の施設だけでは足りない。
- せっかく広い敷地があるのだから使用しないともったいない。
- 室内施設はコミュニティーセンター等を利用できるが、広々とした大人数で集まれる場所は学校の校庭や体育館ぐらいしかないと考えているため。
- 地域の方や近所で歳が近い子ども同士で交流ができそう。自分の子どもが通う学校の雰囲気や子ども達の様子を見ることができそう。
- セミナー、自治会など、半公民館的に利用できると良いと思いました。
- 校庭(体育館、プール)は住んでいる地域の公園や小さい子が遊べる施設が少ないので「安心して遊べる場所」として活用の余地があるのではないかと思います。
- 渋谷によく行くのですが、廃校になった小学校をリノベーションしてNPOの集りで使ったり、おしゃれなカフェや老人介護施設にして使ったりしているのを見て現役の学校施設を有効活用できると感じたので。
- 雨の日等に運動不足解消に。
- 目的なく、誰でも使えるスペースとして(公的な場所で)使える場所があったらいいと思う。
- 地域の人々の場として施設を開放すれば良いと思う。
- 交流の場⇒単に子どもと遊びたいだけ。
- ・世代間交流出来るイベントに使ってもらう。(音楽、スポーツ、ゲーム、その他文化的なイベント)
 - ・土日に学習支援が受けられるスペースとして使う。(対象となるのは平日学校に登校出来ない児童・生徒又は学習に遅れのある児童・生徒)
 - ・読書会(図書室の活用)
- 交流の場として使えるものは使いたい。
- 多目的に使える施設を開放することによって普段から学校とのつながりが持ちやすくなるのではないかと、子どもが生活する場は地域と密着なつながりを持つべきで、その為には学生以外の市民も利用出来る状態であることが望ましいのでは。
- 文化的な交流の場となり、趣味の世界を広げるきっかけ作りの場になると思う。
- 活用する具体的な方法が思い浮かばなかったから。
- 体育館はスポーツだけでなく、楽器の演奏やダンスやパフォーマンスの練習等々フリースペースとしての利用が可能で活用が高いから。
- 未就学児のいる家庭に使えるとありがたいと思う。
- 地域住民とのコミュニケーションの場として土日に開放できれば用途広がると感じたため。
- 地域活動の中で、自治会の集会所ではできないコーラスやバンド、子ども会でのお菓子作りなどに使用できたら良いと思う。
- 気軽に運動できる場として
- しおさい、茅ヶ崎公園、堤、芹沢、中島の市テニスコートは土日祭日は空かないため。
- スポーツチームの練習、試合のため
- 地域と学校の交流の場として、多目的ルーム等を解放していただけたらと思う。ルールを利用しての展示会などを通して生徒や先生方と交流したい。
- 使用可能かどうか現在解っておりませんが、出来ればフリーマーケットの様な楽しそうな場として、または理科、科学の分かりやすい実験場として利用できれば良いと思ったから。
- 利用できる市の施設(プール等)が近くに無い。なお、地域住民間や児童・生徒との「つながり」という観点では、その内容に応じて利用したい施設も変わる。
- 孫が来た時に一緒に楽しめると思うため。

- 祝祭日等、校庭が空いているならば、校庭でトレーニング等に使用したいし、隣人との交流のためにも使用したい。
- 近くに公園がない。市の施設は遠すぎる。公民館の利用は満杯状態。
- 使用がありそう。
- 小・中学校と地域の人・高齢者で何か一緒に出来ることがあれば良いと思います。（相手に対しての思いやりを育てたい） 空き教室利用等
- これまでの茅ヶ崎在住中は放送大学に在籍していましたので、人との交流は大学の神奈川センターでしたが、昨春卒業後は地域との交流の大切さを考えるようになりました。それにはいろんな人と接触できる場としてランチルームを整備して下さるとありがたいと思いました。

(2) 事後アンケート結果

回答数 45

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

設問 1, 今回の市民討議会について感想や印象をお聞かせください		1	2	3	4	5
		そう思う	どちらかと言え ばそう思う	ない どちらとも言え ない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
A	市民討議会はおもしろかったですか	36	6	1	0	1
B	討議の進め方はわかりやすかったですか	16	22	6	1	0
C	進め方に関する説明は十分だと思いましたか	16	18	8	3	0
D	アイスブレイクで話しやすくなりましたか	11	15	10	6	3
E	各回の情報提供で、討議がおこないやすくなりましたか	10	15	12	5	3
F	討議1のテーマは、話しやすかったですか	18	21	5	1	0
G	討議2のテーマは、話しやすかったですか	19	17	3	4	0
H	討議を通して個人意見がより成熟したと感じられましたか	16	19	8	0	1
I	グループでの意見は、十分な合意により形成されましたか	25	16	3	0	1
J	各班の討議報告で、他の参加者の意見がわかりましたか	30	14	1	0	0
K	市民討議会は市民の声を反映させるのに有効な手法と感じましたか	22	10	11	1	0
L	討議に参加して、市民が「まちづくりの主役」という印象が強まりましたか	13	16	12	2	1

設問 2, グループごとの話し合いは、円滑に進みましたか		
①	円滑に進んだ	28
②	やや円滑に進んだ	14
③	どちらとも言えない	1
④	やや行き詰まったときがあった	1
⑤	何度も行き詰まった	1
⑥	その他	0

→どのようにすれば、より活発な討議が出来ると思いますか。下欄にお書きください。
(意見の一部を概要で掲載)

- 司会者を役員の方で立てて欲しい。
- 議長（司会）役の委員さんが議論をコントロールする情報提供をもっと分かりやすくする（用語、展望等の説明が分からなかった）
- 進行役次第！すごく勉強になりました。
- タイムスケジュールは細かく運営前で行った方が良い。
- 時間配分等進み具合をもう少しサポート側で管理頂けると話しやすいかなと感じました。
- ファシリテーターの方が進行させても良いかも？（リーダーも意見を出すことに集中できる）
アイスブレイクが後半のように班内でやり取りするものを増やせるとより良いように感じました。
- リーダーが一貫して同じ人。
- テーブルにお茶をいただきましたが、お菓子とかがあると、食べ飲みしながらもっとフランクにできるかなと思いました。（ディズニー（オリエンタルランド）の研修でそうやっていました）
- 役所の方などの司会進行が班ごとに必要だと思いました。話しを平等にふったり、話し合いが違う方向に進んだ時は話を戻したりまとめたり参加している市民の方以外が良いと思います。結局話しやすい人同士で話してしまうので。
- コーディネーターによる司会進行
- ワークショップ初心者でも受け入れられるルールのとりの入れ。（声が小さい方がいたのでよく聞こえるようにとか）
- もう少し大学の先生のプレゼンをわかりやすくして欲しい。話しも短めに。要点をおさえて。
- もう少し討議時間をとった方が良いと感じた。（半日ではなく、1日でも良い）
- 討議のもって行き方の説明が欲しかった。
- 今回のような少人数であれば話しやすいと思います。＊今回自分の職業上言ってはいけないのかなと思うことが多くなかなか発言できず、すいませんでした。（小学校教員）
- 考えにまとまりつかなかった。
- 思っている事、わからない事、とにかく聞いて話す。
- 司会者（グループ内）がリーダーシップをとって討論した方が良いのではないかな。
- このような討議会を行う事によって市民にも浸透させる一方、主催者も進行要領を学んでより円滑な運営が出来るようになるのでは。
- フリートーク
- 班の進行役、学生さんの書記の能力、進め方で変わると感じました。今日はすばらしかったです。

設問 3, 討議の際、1つのテーマについて平均して何回くらいお話しされましたか		
①	10 回以上	6
②	7～9 回	6
③	4～6 回	21
④	1～3 回	7
⑤	0 回	0
⑥	わからない	3

設問 4, 市民討議会ではじめて顔を合わせる他の市民との会話について、どのように感じましたか(○はいくつでも)		
①	さまざまな考え(発想)が聞ける楽しさ	37
②	さまざまな世代の意見が聞ける楽しさ	32
③	同じ茅ヶ崎市民としての共感や連帯感	18
④	はじめて会う人との会話における抵抗感	3
⑤	意見を言うのになれておらず、話しにくい感じ	1
⑥	その他	2

設問 5, 今後、同様に市民討議会の案内が届いた場合、何を条件に参加を決めますか		
①	日程	27
②	内容・テーマ	24
③	謝礼の有無と金額	1
④	案内があればぜひ参加したい	13
⑤	条件を問わず参加しない	0
⑥	その他	1

設問 6, 市民討議会に参加して、謝礼の必要性について、どのように思いましたか		
①	必要	9
②	不必要	33

設問 6-1, 【設問 6】で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか		
ア	謝礼 1000 円	3
イ	謝礼 3000 円	1
ウ	謝礼 5000 円	4
エ	謝礼 10000 円	0
オ	謝礼品 1000 円程度	1
カ	謝礼品 3000 円程度	0
キ	謝礼品 5000 円程度	1
ク	謝礼品 10000 円程度	0

設問 7, 今後、市民討議会をはじめとした市民参加（市政への参加）について、どのようにお考えですか		
①	積極的に参加したい	18
②	案内があれば参加したい	27
③	参加しない	0

設問 8, 討議をふまえて、「学校施設の再整備」についてイメージが湧きましたか		
①	イメージできた	22
②	なんとかイメージできた	19
③	イメージできなかった	3

設問 8, ③と答えた方⇒それはなぜですか

○再整備にあたって施設の複合化を市が考えているのだと受け取った。グループでは安易に学校を複合化していく方向には反対し、学区としての価値を維持しつつ、防災等の機能を加えていった方がよいという意見にまとまった。

○情報提供に意見が引っ張られている感じがあった。

○小中学生なのか、市民なのか、外国人に対してなのか対象がはっきりしていない。

設問 9, 討議を踏まえ、学校施設を再整備する時に重要だと思うことはなんですか		子どもにとって	大人（地域）にとって
①	周辺の自然環境・景観との調和	15	6
②	学習形態に即した施設の間取り	14	3
③	適正な学校の規模（児童・生徒数）	9	3
④	施設設備の充実	11	8
⑤	施設内の環境整備	15	7
⑥	地域でも活用できる施設	5	34
⑦	防災・防犯の強化	19	17
⑧	バリアフリー化	1	6
⑨	児童・生徒が交流しやすい場の設置	25	6
⑩	他公共施設との複合化	7	29
⑪	その他	0	2

設問 9-1, 【設問 9】で⑪その他を選択した方は、その理由を記入してください

○子どもと触れあえる機会。地域で子どもを育てる意識、一人一人が模範になる意識が必要。
○皆さんの協力なしで事は始まらない。

設問 10, 市民討議会に参加して感じたこと、市民討議会に期待することなど、自由にご記入をお願いします。

○普段話せない世代の人達と話せるのはとても良かったです。

○もう少し色々な意見が出ると良い、一人の人がずっと喋っていたので、司会者にコントロールして欲しかった。

○良い機会だと思いました。

○色々な意見を聞いて勉強になった。こういった場は貴重だと思うので、今後も継続して欲しい。

○フィードバックが欲しいと思います。こうした会が実際どのように活用されて結果としてどう進んでいるか等、実際の案内をいただけたら嬉しいです。

○茅ヶ崎市民は意識が高い人が多いと感じたので、それを市政に活用してほしいと思いました。

○想像以上に白熱して実りある経験でした。

○海辺、ビーチの活性化をとりあげて欲しい。

○今後小学校にあがる子どもを持つ親として非常に勉強になりました。ありがとうございました。

○参加していない市民の方へ分かりやすく報告していただきたいです。

○情報提供をもっとわかりやすく、面白いものにして欲しいです。今後も参加はしたいが、リーダーは荷が重いなと感じました。

- ・今回の討議会の結果提言により何にどう反映、参考になったのか、その後の成果を出席者、市民にしっかりと伝える様にアナウンス報告頂きたい。最初に何にどう意見を反映させるのか、マイルストーン、スケジュール等を示して頂くと、より具体的な討議が出来ると思います。
- ・本検討、討議会においてもコミュニケーション、英語力、防災など共通したキーワードが出ているので是非市政において普段拡大に向けた取組、補助等の検討をして頂きたい。
- ・今回の討議のまとめは、市の方にコメント頂きたかったです。
- ・本検討会議において、市民の時間、市役所の利用などで費用もかかっているのでは是非具体的につなげて頂きたい。
- 初対面の方々との討議に若干不安を感じながらの参加でしたが、皆さん話やすく、真剣に自分の住んでいる地域のことを考えていらっしゃり勉強になりました。機会があればまた参加したいです。
- 今まで住んでいる茅ヶ崎の活動に興味があったけれど、参加できる機会が少なかったので、ワークショップ形式で茅ヶ崎の活動に参加できてとても刺激的でした。茅ヶ崎についての会にまた参加したいと思いました。
- 多様な意見を聞くことができ勉強になりました。これからは市政にもっと興味をもって接していきたいと思いました。
- 9:30～13:00 は長すぎる。内容的には妥当な時間だけど、拘束時間としては長い。時間どおりに終わらせてほしい。
- この後の動きをぜひ知りたい（継続的に）
- 社会的に忘れられた置いてきぼりの存在の老若男女の為になる施設として学校を活用していただきたいです。（再生の場として）
- 時間が足りない感じがした。
- 良い取組みだと思います。
- 多くの意見、アイデアが出ましたので、何かしら実現していただきたいです。
- 今回のアンケート結果等、参加者にフィードバックしていただけるとより理解度ならびに関心度が深まると思われます。
- 参加することによって市への愛着がわきました。
- みんなが参加された方々のような意識をもたれているといいと思いました。
- 色々な意見が聞けて良かった。
- 行政（市民）に民意（地域の人）を取り込んでいただきたい。
- 討議時間をもっと長く（1 時間/テーマ）して欲しい。
- 皆さままじめだと感じた。
- 非常に良い試みだと思います。今後も続けてこのような討議会を開催して欲しい。
- 皆さんそれぞれ意見が有り、その意見に対して反論しない。約束事が大変良いと思う。
- この会議の結果が見える様に実現して欲しい。
- 市民の方々のいろいろな意見が聞かれた良い機会でした。
- 長く継続していただきたいと思います。

(3) 不参加者アンケート結果

回答数 490

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

【参加者の属性について】

設問 1 年代		
①	20 歳代	67
②	30 歳代	110
③	40 歳代	89
④	50 歳代	51
⑤	60 歳代	85
⑥	70 歳代	60
⑦	80 歳代	18
⑧	90 歳代以上	4
無回答		6

設問 2 性別		
①	男性	154
②	女性	254
無回答		82

【市民討議会について】

設問 1 市民討議会について、知っていましたか。		
①	よく知っている	6
②	少し知っている	23
③	言葉を聞いたことがあった	84
④	初めて知った	370
無回答		7

設問 2 茅ヶ崎市市民討議会の案内が届いたとき、どのように感じましたか。 (複数回答可)		
①	面白そうに思った	98
②	なぜ自分に届いたのか不思議に思った	216
③	分からない	127
④	その他	40
無回答		20

設問 3 スケジュールについて (複数回答可)		
①	半日では長時間に感じる	69
②	半日時間を費やすことはできない	64
③	土・日曜日は、都合が合わない	96
④	今回は都合が合わない	218
⑤	その他	63
無回答		22

設問 4 今回参加されなかった理由は何ですか。(複数回答可)		
①	日程が合わなかったから	265
②	興味のないテーマだったから	58
③	行政の事業には興味がないから	19
④	面倒だから	37
⑤	謝礼がないから	19
⑥	その他	138
無回答		12

設問 5 次回、このようなイベントの案内が届いたら、どうしますか。（複数回答可）		
①	日程が合えば、参加する	128
②	興味のあるテーマならば参加する	178
③	謝礼等があれば参加する	62
④	できれば参加したくない	109
⑤	その他	68
無回答		15

設問 5-1 【設問 5】③謝礼等があれば参加するを選択をした方は、どの程度の謝礼が望ましいですか		
ア	謝礼 1,000 円	5
イ	謝礼 3,000 円	9
ウ	謝礼 5,000 円	12
エ	謝礼 10,000 円	12
オ	謝礼品 1,000 円程度	2
カ	謝礼品 3,000 円程度	3
キ	謝礼品 5,000 円程度	2
ク	謝礼品 10,000 円程度	1
無回答		2

5 講評

平成28年度市民討議会

「学校施設の可能性～「つながり」を生み出す学びの場づくりにむけて～」を振り返って

このたびは市民討議会に招かれ、貴重な経験をさせていただきました。小生が招聘されたのは、茅ヶ崎市との間で文教大が協力協定を結んでいることが大きな背景ですが、「人口減少期の学校問題」を最近の研究テーマにしていることもあったようです。

それはさておいて、1971年から1974年にかけての第二次ベビーブーム時に新增設された小中学校は全国的に改築期に差し掛かっています。学校施設は50年程度で全面改築、という暗黙の了解があるためです。そこで、どのような学校施設を作るか、という問題が各地で発生していますが、現時点で学校改築する場合には、向こう50年から60年にかけての活用を考え進める必要がある、ということになります。

中長期的に少子高齢化が続いているのは茅ヶ崎市でも同様で、そこで、近々改築を控えた学校施設が発生していることを踏まえ、これからの学校施設をどのようなビジョンで構想したらよいか市民全体で考えてみよう、ということだったようです。

市役所の方から求められたのは、「教育施設のこれから」を話し合うための素材の提供でした。15分間の情報提供を2回、都合30分の情報提供を、というのが小生に与えられた課題でした。限られた時間ですので、どのような素材を提供したらよいか悩みましたが、次の二つに課題を絞ることにしました。

第一は、次期学習指導要領作成をめぐる交わされてきた、「知識基盤社会」に生きる日本人の資質・能力像に関わる論議の紹介です。

第二は、中長期的な少子高齢化、人口減少社会を見通した際の学校施設の複合化の先進事例、流れなどの解説です。

二回の情報提供に際しては、45分と60分のグループ討議が組まれました。市民討議会に参集された50名前後の市民の方々を6～7人の小グループに編成し、ラウンドテーブルを囲むかたちでのバズセッションが組まれたということです。

小生は、市民討議会に先立ち、パワーポイントの電子データを送付しておりましたが、市民の皆さんには、あえてあらかじめ送付することはしなかった、ということでした。全員が予見なしに、ぶっつけ本番で議論する、という趣旨でそのような方式をとったということでした。

グループ討議の折には、できるだけたくさんのグループを巡回させていただきましたが、掛け値なしに、どの班も真剣に、熱っぽく話し合いを進められていました。主催者からは、出された意見を批判しないなど、討議会を進めるうえでのお願いが冒頭に示されましたが、杞憂のようでした。

最後には、各グループで出された意見をそれぞれ紹介し、討議会が閉じられました。

出された意見を概観すると、文部科学省で10年以上かけ進められてきた「学校施設の複合化」にかかわる課題がほとんどそのまま出されていたように思います。

小中学校は、日本人すべてが潜り抜ける公共施設です。人口減少、少子高齢化という人口動態を見据え、地域の小中学校をどう描いたらよいかはすべての住民の共通関心事であるはずです。

このたびのような地道な取り組みが他の地域でも積極的に進められ、地域核としての小中学校の将来ビジョンが描かれることこそが、今後我が国が直面する人口減社会に立ち向かう有効な手立て、と感じ取ることができた一日になりました。

文教大学 葉養正明

6 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き

- (1) 茅ヶ崎市「市民討議会」開催に関する協定の締結（５月１０日）
- (2) 平成２８年度第１回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（５月１６日）
市民討議会テーマの検討、実施に向けた実行委員会等スケジュールの検討、抽出する市民の数及び年齢層等の検討。
- (3) 第２回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（６月３日）
討議テーマに沿った個別討議のテーマの検討、招待状の内容の検討、事前・事後アンケート内容等の検討。
- (4) 第３回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（６月２２日）
討議テーマに沿った個別討議のテーマの検討、当日のスケジュールの検討、情報提供者の検討、事前・事後アンケート内容等の検討。
- (5) 第４回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（７月１２日）
討議テーマの最終確認、当日のスケジュールの最終確認、事前・事後アンケートの最終確認、必要物品等の確認。
- (6) 模擬「市民討議会」実施（７月２７日）
- (7) 市民討議会事前アンケートの実施（８月２２日）
- (8) 市民討議会「学校施設の可能性～「つながり」を生み出す学びの場づくりにむけて～」開催（９月３日）
- (9) 第５回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（１２月１３日）
市民討議会「学校施設の可能性～「つながり」を生み出す学びの場づくりにむけて～」の実績確認、次年度以降の市民討議会の運営体制について確認。
- (10) 市民討議会「学校施設の可能性～「つながり」を生み出す学びの場づくりにむけて～」報告書完成（３月）

あとがき

近年、市民討議会は市民参画の手法として、全国各地で開催されております。茅ヶ崎市では2008年に1回目を開催してから、継続的に毎年開催しております。また、茅ヶ崎市は、行政、公益社団法人茅ヶ崎青年会議所、文教大学と3者協働で組織された実行委員会で市民討議会へ取り組んでおり、全国からも注目されています。

地方分権が進む昨今、国・県・市町村が計画や条例などを策定する段階で、市民討議会以外にも、市政への市民参加の場はパブリックコメント・審議会・アンケートなど様々な方法でも市民参加が行われています。市民討議会の特徴は、メンバーとなる市民を抽選で選び「熟慮した平均的な市民の声」を聞くことができ、政治や行政に適切な市民の声を届けることができると同時に、一般市民が社会を構成する主体者であるという認識を新たにし、幅広い層の潜在的な市民の声を市政に反映させ、社会参画意識の向上を図ることができるものです。

本年度は教育政策課からの提案を採用し、「学校施設の可能性～「つながり」を生み出す学びの場づくりにむけて～」をテーマに市民討議会を開催させていただきました。市内小中学校の老朽化により、今後建て替えが検討される中、子どもや私たちの成長に向けて必要な学校施設について、未来の担い手として、今子供たちに学んで欲しいことについて討議しました。また、本年度は新たな試みとして、市民討議会開催時間を半日とし、参加された市民への謝礼金は無いかたちでの開催となりました。参加承諾の少なさが懸念されましたが、多くの承諾をいただき、更には参加いただいた方々の参加意欲は高く、活発で有意義な討議が行われたと思います。

当日は、2つの小テーマを設け1つ目として「子どもたちがビジョンや将来の夢を展開できる学びとは何か」現在の小中学校の教育の現状や学びの実態について情報提供がなされ、様々な年代層が集まるメンバー間の中で、把握し、共通認識を図りながら「今」の意識を醸成ができました。その上で、子どもたちが人生のビジョンを描けるような学びとはどういうものかを話し合いながら、自分たちが経験した学びの体験を踏まえながら話し合えたこともここでは活発な討議の要因にもなりました。

2つ目として「子どもと大人と一緒に関わり、触れ合う為に何をしたいか、何ができるのか。また、その為に必要な施設や実現できる施設はどのようなものか」学びや将来ビジョンの展開に向けて、子どもと大人、地域が「関わる」「触れ合う」「一緒に出来る」ことを捉えるために何ができるのかを話し合いました。ここでは、時間軸を設定した模造紙を活用し「近い未来（3年後）」「少し遠い未来（5年後）」「遠い未来（30年後）」として、「子ども」と「大人や地域」というもう一つの軸を設定し、意見を分類することで、参加された方々がどのような方向性で関わりを考えているのかを把握しながら、最後に討議した学びや方法を、学校という場で実現するために、学校施設に必要なものについてテーブル毎に話し合われ発表されました。本年度は半日と限られた時間の中で、当日のテーマはどの年代にも関わってきた事柄でもあり、目先の討議や思い出話に終始しないよう小テーマについては当日までのアレンジし、いかに有意義な討議にしていくかの工夫もされ結果として面白かったと感じております。

今回、市民討議会に参加したことで、市民の声を聞くこととコミュニケーションを通じた市民参加の重要性を再認識させていただきました。市民討議会の目的に対して、取り組

みの広がり、確実に歩みを進めているのではないのでしょうか。今後、継続的に取り組むことで「熟慮した平均的な市民の声」に耳を傾けて更なる工夫を重ねながら、より有効な手法にしていく必要があると思います。最後に、参加されました皆さまの貴重な時間をいただきましたことを心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
山本 真吾

平成 28 年度茅ヶ崎市市民討議会報告書

平成 29 年 3 月発行

編集 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

発行 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

茅ヶ崎市新栄町 1 3 番 2 9 号

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所内